

2月14日(土)

アトピー性皮膚炎治療研究会第20回シンポジウム プログラム

鳥羽国際ホテル ハーバーウイング 6F バンケットホール海城(あまぎ)

11:25 ~ 11:30

開会の辞

会頭：水谷 仁

11:30 ~ 12:10

指定演題 1

座長：高森 建二(順天堂大学浦安病院皮膚科)

指 1-1 アトピー性皮膚炎におけるかゆみの評価と最近の動向

江畑 俊哉  
ちとふな皮膚科クリニック, 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座

指 1-2 1日の生活状況におけるかゆみの10項目質問表について

青木 敏之  
あおきクリニック

12:20 ~ 13:20

ランチョンセミナー 1 痒みに対するアプローチ

座長：塩原 哲夫(杏林大学皮膚科)  
古江 増隆(九州大学皮膚科)

ラ 1-1 何とかしよう!アトピー性皮膚炎の不眠

上出 良一  
ひふのクリニック人形町

ラ 1-2 アトピー性皮膚炎診療におけるカルシニューリン阻害薬の位置付け

竹原 和彦  
金沢大学皮膚科

共催：ノバルティスファーマ株式会社

13:30 ~ 15:00

シンポジウム 1 アレルギーマーチとアトピー性皮膚炎治療

オーガナイザー：片岡 葉子(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科)

シ 1-1 “皮膚科領域から” tight control はアトピー性皮膚炎の予後を改善するか?

片岡 葉子  
大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科

シ 1-2 スキンケアや早期介入はアレルギーマーチを抑制できるか?

○成田 雅美<sup>1</sup>、堀向 健太<sup>1,2</sup>、森田 久美子<sup>1,3</sup>、近藤 麻衣<sup>1</sup>、世間瀬 基樹<sup>1,4</sup>、  
二村 昌樹<sup>1</sup>、齋藤 博久<sup>5</sup>、大矢 幸弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター生体防御系内科アレルギー科、  
<sup>2</sup> 東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター小児科、<sup>3</sup> 平塚市民病院小児科、  
<sup>4</sup> 日本赤十字社医療センター小児科、<sup>5</sup> 国立成育医療研究センター研究所

シ 1-3 スキンケアだけではアレルギーマーチを抑制できるとは限らない

井上 祐三朗  
千葉大学小児科

15:10 ~ 15:50

スイーツセミナー

座長：秀 道広(広島大学皮膚科)

ス-1 スギ花粉の経皮感作による皮膚炎の病態と治療

横関 博雄  
東京医科歯科大学皮膚科

共催：鳥居薬品株式会社

15:50 ~ 16:20	<b>コーヒブレイク (ハーバーウイング6階ロビー)</b> ..... 世話人会 (15:50 - 16:20 ハーバーウイング3階 会議室B)
16:20 ~ 17:20	<b>指定演題 2</b> 座長：片桐 一元 (獨協医科大学越谷病院皮膚科)  指 2-1 小児アトピー性皮膚炎における痒みについて：とくに QOL の観点から 藤澤 隆夫 国立病院機構三重病院アレルギーセンター・小児科  指 2-2 アトピー性皮膚炎の将来治療と痒みのコントロール ○古江 増隆、中原 剛士、中原 真希子 九州大学皮膚科
17:20 ~ 17:50	<b>一般演題 1</b> 座長：山田 秀和 (近畿大学奈良病院皮膚科)  一般 1 アトピー性皮膚炎、結節性痒疹に対するエキシマライト光線療法の治療効果 ○田原 真由子、進藤 翔子、室田 浩之、片山 一朗 大阪大学皮膚科  一般 2 アスピリン、ロキソプロフェンで止痒する難治性痒疹の一例 片桐 一元 獨協医科大学越谷病院皮膚科
17:50 ~ 18:00	<b>閉会の辞</b> 次期会頭挨拶：アトピー性皮膚炎治療研究会第21回シンポジウム会頭 片桐一元
18:00 ~ 18:30	<b>協和発酵キリン主催セミナー</b> 座長：片山 一朗 (大阪大学皮膚科)  アトピー性皮膚炎の適切な治療を考える ～皮膚の破壊を止めたいその理由～ 山中 恵一 三重大学皮膚科